

Weekly Report

2026. 2. 22
No. 3162

ROTARY CLUB OF MOKA

2025～2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ

ID13862 真岡

Rotary



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

■本日のプログラム 第2550地区第4グループ
インターシティ・ミーティング
於:フォーシーズン静風

■〈第1部〉インターシティミーティング

■歓迎の言葉

下野上三川ロータリークラブ 会長 深谷 明生 様

下野上三川ロータリークラブの深谷明生です。皆様、こんにちは。ホストクラブを代表し、一言、歓迎の言葉を述べさせていただきます。本日は、パストガバナー鈴木宏様、石田順一様をはじめ、第4グループの真岡ロータリークラブの皆様、益子ロータリークラブの皆様、真岡西ロータリークラブの皆様、そして、当クラブの生みの親である小山東クラブの皆様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。

本年度も7ヶ月が過ぎ、各クラブともに様々な奉仕活動や親睦活動を活発に行っていることでしょう。私たち下野上三川ロータリークラブも、本年度はイタリアからの留学生を受け入れ、例年にはない行事を計画しております。そのような中で、各クラブは多様な課題を抱えていると思います。私のクラブでも、地域の人口減少や高齢化、さらに介護の必要があるために、例会出席が難しいメンバーがいます。例会は人生修養の場、学びの場であることを再認識する必要があると思います。どのような状況でも、共に前向きに捉えることで、少しずつ全ての問題を解決できると確信しています。この後、テレビで活躍されている元埼玉県警の佐々木成三さんの基調講演がありますので、ぜひ

楽しんでいただきたいと思います。最後になりますが、ここにいらっしゃるロータリー会員の皆様のご活躍と、ロータリークラブの益々の発展を願って、歓迎の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。

■挨拶

第4グループガバナー補佐

篠崎 宏司 様

皆さん、こんにちは。先ほど行われた衆議院の選挙において、真岡ロータリークラブの斉藤さんが後援会長を務めた石坂太さんが見事に当選されました。おめでとうございます。また、女性初の総理大臣が誕生し、非常に人気があります。自民党は衆議院で316議席という3分の2を超えたようですが、「働け、働け」といった声が聞こえます。しかし、日本は働き過ぎで低賃金のため、みんなが苦しんでいます。その現実に対処することは難しいと思います。ドイツは日本を追い越し、世界経済の第3位に位置していると聞いています。日本では、実際に働いている人は全体の4分の3しかいないようですが、経済力は非常に高いです。高い賃金と余裕のある生活を享受しながらも、経済は素晴らしい成績を残しています。この差がどこにあるのかを考える必要があると思います。



MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90：東武ホテルグランデ 小山中央：思水荘 真岡西：フォーシーズン静風	宇都宮：東武ホテルグランデ 宇都宮東：ホテルニューイタヤ 小山南：小山グランドホテル	益子：益子カントリー 下野上三川：石橋商工会館 小山北：和風ダイニング彩華	宇都宮西：東武ホテルグランデ 宇都宮北：ベルビィ宇都宮 小山：小山グランドホテル	小山東：小山グランドホテル

会長:柳田 尚宏 幹事:坂本 光 会報委員:平石典嗣 中島弘司 市村滋郎 相場一宏

事務局:〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL:<http://rc-moka.jp/> E-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

会報担当:平石典嗣

私たちのロータリークラブは、友愛と奉仕の精神で活動しています。働き過ぎず遊び過ぎず、ゆっくりした人生を送ることも必要だと考えます。私の現在の考えは以上です。本日は多くの皆さんにお集まりいただき、誠にありがとうございます。IMは年に一度の最大の行事です。私たち全員がロータリークラブ活動を続けていけるよう、これからも頑張っ



■参加クラブ現況報告

真岡ロータリークラブ 会長 柳田 尚宏 君

こんにちは。真岡ロータリークラブ第 67 代会長の柳田尚宏です。本日は、2025、26 年度の活動についてご報告いたします。今年度のテーマは「原点回帰」です。3 年後に 70 周年を迎えるにあたり、その前段としてクラブのあり方を見直し、新しい真岡ロータリークラブへの進化を目指すための土台作りの一年としたいという思いから、このテーマを掲げました。ロータリーの原点である親睦と奉仕を再評価し、基盤を固める一年としてスタートしました。

2025 年 7 月 3 日には年初の例会を大前神社で行い、新年度の始まりに向けた祈願祭を執り行いました。原点回帰の精神を共有し、地域に必要とされるクラブを目指す決意を全会員で確認しました。8 月 7 日には二十二ガバナーの公式訪問を受け、クラブの運営や活動方針についてご指導いただきました。この機会を通じて、ロータリーの公共イメージ向上の重要性を再認識しました。

8 月には親睦事業として、8 月 21 日に納涼家族例会、8 月 30 日に夜間のバーベキューを開催しました。会員やその家族と過ごす時間は、クラブの結束を強める重要なひとときであり、準備は大変でしたが、屋外での親睦が距離を縮める場となりました。このイベントは、ロータリークラブ会員

の金子正男さんが運営されるグラベックのお庭を借りて開催されました。10 月 17 日には、地域奉仕活動として老人身障合同スポーツ大会に参加し、約 800 食の豚汁を提供しました。地域の皆様と共に汗を流し、笑顔を共有することで、奉仕の原点を再確認しました。11 月 1 日から 4 日には斗六ロータリークラブを公式訪問し、長年の交流が評価され、柳会員と中川宏行直前会長が親善大使に任命される機会もありました。姉妹クラブ委員長の横松会員の尽力により、交流の絆がさらに深まる大変意義のある訪問となりました。国際交流というロータリーの柱を今後も大切にしていきたいと思います。12 月 25 日には忘年家族例会を開催し、夫人やお子さん、お孫さんにもご参加いただき、年間の活動を振り返る感謝のひとときを共有しました。

2026 年 1 月 8 日の新年例会では、後半戦に向けての決意を新たにし、年男の皆様をお祝いしました。また、新たに河原勇人さんをお迎えし、クラブ初の女性会員、成瀬美奈子さんへのバッジ授与式を行いました。初めての女性会員を迎えることに緊張しましたが、クラブに新しい風が吹き込まれる瞬間でもありました。会員の増強はクラブの未来を築くために大切です。1 月 10 日、11 日には第 42 回真岡ロータリークラブ杯少年サッカー大会を開催し、地域の子どもたちの健全育成を支援しました。未来を担う世代への支援は地域への最大の投資と考えています。1 月 15 日は、斗六ロータリークラブ第 2000 回例会の記念式典に出席しました。斗六訪問は私にとって 10 回目となり、親善大使の印をいただいたことは大変光栄です。継続の力と友情の積み重ねがロータリーの財産であると再確認しました。また、台湾からの米山奨学生、ライ・ヨウティン君を迎え、親善の輪を広げています。若者への支援も我々の重要な使命です。



今後の活動として、3月7日に第42回真岡ロータリークラブ杯小学生バレーボール大会、3月26日には中村真岡市長卓話、6月11日には会長幹事総括、6月18日には最終例会を予定しています。結びとしまして、本年度は原点回帰のもと、親睦を深め、奉仕を実践し、国際交流を継続する一年として活動しています。70周年に向けて、一歩ずつ足元を固める年にしてまいります。今後とも、真岡ロータリークラブをどうぞよろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

■ロータリー青少年交換プログラム一年交換学生

アージア・エミリー・トゥルー・バトゥ さん(下野上三川)

こんにちは、皆さん。今日はスピーチをさせていただきます。私の名前はアージアです。留学生として、日本にきています。私は2008年に生まれた17歳で、宇都宮南高校に通っています。

日本にはイタリアの旗を背負ってきました。イタリアで育ち、学校にも通っていましたが、勇気を出して日本にすることを決めました。両親はいつも、正しい道を歩み、自分が欲しいもののために一生懸命頑張るように言ってくれました。初めて海外で文化交流をしたいと話した時、両親は私を誇りに思ってくれました。私が冒険が好きだと知っていたため、他の大陸に行きたいと強く思ったものの、実現できなかったと思います。学校では、他の生徒たちは近い国や短期の交換留学に参加することがほとんどでした。友達も、私がもっと東の日本に行きたいと言うとは思っていませんでした。そして、いくつかの面接を経て、日本に行けることを聞いたとき、非常に嬉しかったです。

日本は、古い伝統と現代が共存する国です。人々は伝統と現代を完璧にバランスさせて生活しています。ここでは、多くの人が電車をよく利用します。それは非常に便利です。みんな忙しいですが、電車は早く、いつも時間通りに運行されています。また、車内はきれいで明るい色が使われています。イタリアにも電車はありますが、日本は外の環境を大切にしています。人々は外に対して礼儀正しく接し、協力し合います。私がうまくいかなかったときも、人々は助けてくれました。

オリンピックでは、日本のチームがテレビで日本とイタリアの旗を見せる場面がありましたが、そのとき、私と多くのイタリア人もとても嬉しかったです。このような行動は感謝の

気持ちを表す素敵なものだと感じました。

最後に、ロータリークラブのおかげで、このような素晴らしい場に立てたことに心より感謝しています。ありがとうございました。



■次年度ガバナー補佐挨拶

真岡ロータリークラブ 金子 正男 君

次年度のガバナー補佐に関するご挨拶です。金子は所用のため欠席しておりますので、挨拶をお預かりし、代読させていただきます。

RI2026・2027年度、オンラインカ・ハキーム・ババロラ会長からのメッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。高橋智純地区ガバナーは、RI会長の方針に基づき、「奉仕を通してロータリーを楽しもう」と発表しました。運営方針としましては、以下の4点が挙げられます。

1. 横の連携:クラブと地区組織の連携
2. 行動と実践:クラブおよび地区の方針に基づいた奉仕活動
3. 地区推進事業としての重点事項:
 - 平和
 - 教育
 - 環境
 - ポリオの根絶
4. クラブ基盤の強化
5. 地区DX(デジタルトランスフォーメーション)強化
6. 地区寄付基盤の強化

これらを踏まえ、第4グループの各クラブも一年間、ガバナーのサポートをしていきたいと考えております。

なお、次年度のIMは、当会場で3月7日日曜日を予定しております。記念ゴルフはIM後の日程を考えていますが、現時点では未定です。決定次第、各クラブには早め

にご報告いたします。

以上、代読させていただきました。次年度、事務局を務める阿久津です。ありがとうございました。

■〈第2部〉基調講演

一般社団法人スクールポリス理事 佐々木 成三 様

ご紹介いただきました佐々木と申します。国際ロータリークラブのインターシティミーティングという大きなイベントでの基調講演は、今回で3回目です。ロータリークラブの皆様にはお世話になっており、卓話では防犯に関する講話をさせていただいております。今日はこの格式高いイベントで、最新の防犯マニュアルについてお話しさせていただきます。60分と少し長い時間になりますが、1つでも皆さんにきっかけをお持ち帰りいただければと思います。

まず自己紹介をさせていただきます。私は元埼玉県警で捜査一課の刑事をしておりました。22年間警察官を務め、そのうちほとんどの期間を刑事として過ごしました。40歳で退職し、30歳から40歳までの10年間、埼玉県警察本部刑事部において、連続殺人や強盗殺人、放火などの凶悪犯罪の捜査に従事していました。今でも刑事が天職だと思っています。辛いことはなく、被害者のために容疑者を捕まえる仕事に誇りを持っていました。

よく聞かれるのは「なぜ天職と思う刑事を辞めたのか？」ということです。SNSには、私が40歳で退職したのは万引きなどでクビになったのではないかと、いった噂もありますが、実は辞めた理由は明確です。日本の犯罪の特徴として、凶悪犯罪の前に容疑者の前兆に誰かが気づいていれば、このような犯罪は防げたのではないかと思うようになりました。今日お話しする防犯マニュアルも、被害者側の防犯意識があれば、悲惨な被害が防げたかもしれないという思いを持っております。その得た知識と経験を皆さんに発信し、犯罪を防ぐ環境を作りたいとの思いから、刑事を辞めて現在は一般社団法人スクールポリスとして、小中高生や大学生へインターネットやSNSの危険性について授業を行っております。また、パナソニック防犯アドバイザーとして、防犯ツールを使って犯罪を防ぐ方法を提案しております。

現在、刑事コメンテーターとしても活動しています。この2023年の上半期において、テレビ番組への出演数が急上昇し、視聴率第2位を獲得しました。1位は神木君、3

位は子役の役者たちで、連続ドラマの主演や準主演を担っていたため、毎日出演していたことも影響しています。この中で私が第2位に入ったことに驚いていただいておりますが、実際、私はバラエティには出演していません。そのため、私の出演番組は主に朝や昼、夕方、夜の情報番組、ニュース番組や報道番組が中心です。コロナが明けて以来、特殊詐欺や闇バイト強盗が増加傾向にあり、それに関する情報の発信がますます重要になっていると感じています。

最近、徹子の部屋にも出演し、現在の日本の犯罪事情や防犯意識の重要性についてお話ししました。本当に今大切なのは防犯意識です。コロナ禍が明けて犯罪件数が増加していますが、皆さんの会社でも活用されているかもしれない生成AIの進化も影響しています。5年前や10年前までは専門家しか扱っていなかった技術が、今では小学生も利用できるようになった結果、便利なものができると同時に犯罪にも使われるリスクがあります。そのため、これからは自分を守るための防犯意識が重要です。

私が全国で防犯講演を行う中で、特に力を入れているのは地域の防犯格差をなくしたいということです。今や、インターネットや電話がつながる場所であれば、どこでも犯罪が行える時代です。治安が良いと思われている地方も、犯罪組織にとっては狙い目になっています。生成AIを扱っている専門家であり、大学のシンポジウムにも参加した経験がありますが、正しい使い方が広まる一方で、ディープフェイク技術なども悪用される危険性があります。そこで、今日は皆さんに生成AIの具体例をお見せするためのソフトウェアを作成しました。これは、皆さんが何を考え、どれを選ぶのかを予測するソフトです。6枚のトランプが出てきますので、その中から1枚だけ選んで、周りの方には何を選んだか分からないようにしていただきます。目を閉じていただき、その間にAIが皆さんの動きやデータを予測して、皆さんの選んだトランプを選びます。そして目を開けていただいた際、一枚抜きます。これが本当にできるとすれば、生成AIの凄さを実感するでしょう。

今日の講演では、詐欺の手口についても詳しくお話ししたいと思います。今の日本では、犯罪の手口がリモート型に変わり、顔を合わせない形での詐欺や犯罪が増えています。通信技術の向上が犯罪の巧妙化に寄与しているため、自分自身で自分を守る意識を持つことがますます

重要になっています。

防犯対策としては、ただ単にカメラを設置するだけでは不十分です。多層的な対策が必要であり、例えば迷惑電話防止の電話機、防犯カメラ、録画機能付きのドアホンを併用することが重要です。これらのツールを用いた攻める防犯を実践することで、犯罪に対する脅威を減少させることができます。

最後に、皆さんに防犯意識を上げるための情報を学んでいただければと思っています。私の YouTube チャンネルで、犯罪の手口を発信していますので、ぜひフォローしてください。今日の講演を皆さんがご家族や周りの人にも広めていただければ、私も大変嬉しいです。本日はどうもありがとうございました。



■〈第3部〉懇親会



■次回のプログラム

3月5日(木) 12時30分より 於:真岡商工会議所
月初例会

■月間予定出席者

在籍 48 名	出席免除者 1 名 (有資格者 1 名 + 有理由者 名)						
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率 (%)
補正後 月 日							
本日 2 月 22 日	47	0	-	32	0		68.09

■月間出席率(%) ※例会欠席は前日 15:00 までに必ず事務局までお知らせください。

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
80.68	73.49	65.43	70.59	82.61	73.19	78.72	71.63				

※例会欠席は前日 15:00 までに必ず事務局 (TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510) までお知らせください。